

## 地域連携参加型学習

### 実施者

経済学研究科 准教授 下野由貴  
人間文化研究科 教授 吉田一彦、准教授 谷口由希子  
芸術工学研究科 教授 水野みか子、准教授 ネダ フィルフォヴァ

### 連絡先

事務局教務企画室 kyoumu\_box@sec.nagoya-cu.ac.jp

### 連携・協力者

愛知 P F S 協会、名古屋市観光  
文化交流局、名古屋観光コンベンションビューロー等

### ポイント

学生が教室から外に出て地域の課題に触れ、地域の人々と触れ合いながら、学んでいます

## 1 概要

- ・「地域連携参加型学習」は、経済学部・人文社会学部・芸術工学部の3学部の学生が学部の枠を超えて大都市名古屋の地域における現在の課題、中長期の課題とは何かを現場で学び、課題とその解決策を考察することを目的として、平成26年度に新設した科目です。
- ・学生が少人数グループに分かれて実際に地域に出て地域コミュニティと関わり、地域ニーズの発見と実際の課題の解決をテーマに学習しています。

## 2 活動内容

- ・30年度は、以下のような調査・活動を行いました。
  - ① 喫茶店文化が根づくまち、名古屋のパンの過去・現在・未来を考える
  - ② ひとり親家庭で生活する子どもたちへの支援を行い、課題解決にむけて考える
  - ③ 名古屋市の「やっとかめ文化祭」について歩いて考える
  - ④ 外国人の視点で名古屋のまちを歩き、問題点を捜す

## 3 成果

- ・活動成果については、学内で発表会を実施しています。



名古屋能楽堂で「狂言体験」



地域連携参加型学習発表会